

研究協力についての説明書
手話動画による自由回答の個人情報取り扱いに関する説明書
(研究説明書)

1. 研究課題名：COVID-19 流行下における聴覚障害者の ICT 利活用の実態調査

2. 自由記述回答収集の目的

今回、アンケートに関しては個人情報を含まない形で収集していますが、アンケート調査では収集できない困りごとや ICT の活用についての事例、ご意見等を伺いたいです。

- 自由記述は日本語のほか、手話動画で回答できます。
- 手話で回答する場合、顔という個人情報を含みますので、別途同意が必要です。
- 個人情報の取り扱いに関する本説明書を読んで、動画での回答における個人情報の取り扱いの同意ボタンを押してから、動画を送信してください。

3. 調査への回答と分析方法

- 本調査では、動画での回答における個人情報の取り扱いの同意ボタンによる確認と、動画の送信を持って研究参加への同意が得られたものとします。
- 動画は、ご自身のスマートフォンや PC で撮影したものを回答欄の横の選択ボタンで選択し、アップロードしてください。
- 動画を撮影する際に、個人を特定できる要素を減らすため、できるだけ背景に他の方やものが映り込まない場所で撮影して下さい。
- 20 歳未満の方は、保護者の同意（代諾）を得た上で、同意ボタンを押し、送信してください。
- 不明な点があれば、実施責任者まで、遠慮なくご質問ください。
- 得られた動画は、国立障害者リハビリテーションセンターにて手話通訳者が音声に通訳します。
- 通訳を録音するときに、手話で個人情報（お名前や会社名、住所など）が入っていれば匿名化します。
- 各研究機関・研究協力者が通訳音声ファイルから逐語録を作成します。逐語録は、アンケートの回答と紐付けて分析されます。
- 匿名化された状態で、整理・分類し、報告書などに掲載します。

4. 個人情報の取り扱いと保管・廃棄の方法

回答の送信の際、重複送信を避けるために E メールアドレスを伺います。動画はこれと紐付けて保存されます。

アンケートの回答として得られた動画は、国立障害者リハビリテーションセンターの情報セキュリティポリシーに則り、要保護情報としてアンケートサイトのウェブサーバー上に保存され、国立障害者リハビリテーションセンターの担当者に移管されます。移管後は 2022 年 1 月末日をめぐりにサーバーから完全に消去されます。

手話から日本語へ翻訳した音声ファイルは、動画の E メールアドレスと紐付けず、個人情報を含まないように作成します。

匿名化された音声は、国立障害者リハビリテーションにて日本語の逐語録を作成し、逐語録を各研究機関に分配しアンケートの回答と紐付けて分析します。

個人情報が含まれる動画ファイルは、研究結果の最終公表後 10 年間、国立障害者リハビリテーションセンターの担当者（高次脳機能障害研究室 室長 幕内充）が施錠して管理します。保存期間終了後は、データを入力した電子媒体（ハードディスク）は物理的に破壊します。それ以外の研究資料（個人情報を抜いた通訳音声ファイル、逐語録）は、研究期間終了後、すべてを国立障害者リハビリテーションセンター研究所脳機能系障害研究部 高次脳機能障害研究室長 幕内充、聴覚障害を持つ大学生・大学

院生については筑波技術大学 産業技術学部 准教授 井上正之、人工内耳を装着している就労者については静岡県立総合病院 医長 金沢佑治が管理し、同様に保存期間終了後に処分します。

5. 同意及びその撤回、協力中止

- 自由回答での個人情報の取り扱いについて理解し、調査に参加される場合は、参加への同意ボタンを押し、動画をアップロードし、送信してください。
- 同意を押した後で、送信を押さず中止してもかまいません。
- あなたの手話動画を我々が扱うことについての同意の撤回については、回答時に設定したメールアドレスを添えて、以下の連絡先、または当研究プロジェクトのウェブサイトの問い合わせフォームからご連絡ください。あなたの動画は廃棄されます。
- 逐語録は匿名化して作成しますので、すでに逐語録が作成されている場合、逐語録を廃棄することはできません。
- 結果の公表後は同意の撤回はできません。
- 同意を撤回されたり、協力を中止しても、それによって不利益になることは決してありません。

6. 起こりうる危険及び必然的に伴う不快な状態並びにその対応：

動画での自由回答は、いったんインターネットにつながったサーバー上に、保存されます。このサーバーは、十分な情報セキュリティ対策を講じており、外部からアクセスできない場所に動画を格納しますが、インターネットにつながっている以上、漏洩リスクが全くないとはいえません。この点をご了承いただける方のみ、動画を送信して下さい。ç

〈問い合わせ連絡先および撤回の連絡先〉

国立障害者リハビリテーションセンター研究所/
脳機能系障害研究部高次脳機能障害研究室 流動研究員
研究分担者氏名 高嶋 由布子
〒359-8555 埼玉県所沢市並木4丁目1番地
電話番号 04-2995-3100 (内線 2518) FAX 04-2995-3132
メール : dict-pat@rehab.go.jp

〈個人情報に関する苦情の申し立て先〉

国立障害者リハビリテーションセンター
企画・情報部
〒359-8555 埼玉県所沢市並木4丁目1番地
電話番号 04-2995-3100 (内線 2140)
メール : kikakurinri@mhlw.go.jp
企画課長 : 佐々木薫

〈研究責任者〉

国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 脳機能系障害研究部 高次脳機能障害研究室長
幕内充

〈各研究課題の研究実施者〉

- 未就学の聴覚障害児の養育者向けの調査
国立障害者リハビリテーションセンター研究所 脳機能系障害研究部 高次脳機能障害研究室長 幕内充
- 聴覚障害を持つ就労者向けの調査
国立障害者リハビリテーションセンター研究所 障害福祉研究部 心理実験研究室長 清野絵
- 人工内耳を装着している就労者向けの調査
静岡県立総合病院 頭頸部・耳鼻咽喉科 医長 金沢佑治

- 聴覚障害学生向けの調査
筑波技術大学産業技術学部 産業情報学科 准教授 井上正之